

富山県 中央植物園だより



シュウメイギク *Anemone hupehensis* var. *japonica* (キンポウゲ科)

名前にキクとつきますが、アネモネの仲間です。中国から古い時代に入ってきた園芸植物ですが、英名は Japanese anemone。野生化したものが京都の貴船あたりでよく見られたため、キブネギクともいいます。

植物写真展 「秋陽」 撮影 / 多賀 智子さん



なんの花？

答え：バオバブ

当園のバオバブはアフリカバオバブ (*Adansonia digitata*) で、夜に真っ白な花を咲かせます。丸く房状になった雄しべが特徴的で、自生地ではオオコウモリやサルの子の仲間が好んで食べ、花粉を運びます。バオバブは同じ木の花粉を受粉させても結実しません。2013年に熱帯果樹室で開花したバオバブの花の花粉を京都府立植物園と交換して受粉させました。結果は…京都府立植物園では結実しましたが、当園では結実しませんでした (残念…)

Reports イベント報告

オオオニバスに乗ってみよう

8月2日～4日に行われた夏休みの恒例イベント「オオオニバスに乗ってみよう」には、3日間で1,563人の方にお越しいただきました。こわごわ乗ってみると…楽しい!と笑顔になる子、「去年も乗ったよ!」と慣れた様子の子、楽しすぎてもう一回乗る!となる子。今年もたくさんのお子さんたちの微笑ましい姿を見ることができました。中には私も小さいときに乗りました、



3号鉢で育成中のオオオニバスベビー

という保護者の方も!

池のほとりに、なぜ人が乗っても大丈夫なのか、その秘密を解説パネルと実物で紹介するコーナーを設け、普段は見られない葉の裏側のようすに、大人の方たちも興味深く見入っておられました。

ちなみに、我が家の2歳児はというと…乗る前からギャン泣きで、悲壮感漂う写真しか取れませんでした…私も悲しい!
(西村幸芳)



本当に乗って大丈夫かな?ドキドキ

特別展「お茶ってなんだろう」

身近だけど、改めて考えてみるとお茶って何なんだろう?という担当者の疑問をタイトルにしました。今回の展示ではチャノキ(チャの正式な植物名)から作られるお茶を中心に、植物学、文化や生活、歴史、栄養学など多様なアプローチで紹介しました。また、展示の一角には茶室を作りました。これがまあ、やってみると奥が深くて中々大変。茶室は数寄屋ともいわれ、好み



今回のために手作りしたのれん

に合わせて作ればよいらしいのですが、やみくもに自由に作ればよいというものでもなく、やはり押さえなければならない最低限の決まりがあります。その押さえるべきポイントが素人には難しく、関係者にあれこれと聞きながらの試行錯誤でした。特別展は10月9日まで開催中ですので、ぜひお越しください。



こだわりのかまぼこ型の茶道口(写真左側)

(西村幸芳)

Topic 植物園裏話

キョチクのお引越

キョチクは稈(幹のように立ちあがる茎)が最長約50m、直径最大約30cmに達し、タケの仲間では世界最大です。当園では1999年に導入し、熱帯雨林植物室の中心部に植栽しました。高さ25mの温室でも天井のガラスに届いてしまうので、タケノコが伸びる前に先端を落として高さ調整をしながら栽培し、その存在感から温室のシンボルとなっていました。

ところで、モウソウチクやマダケは地下茎を長く伸ばして辺りかまわずタケノコが出てきますが、キョチクは地下茎を伸ばさず株元

からタケノコを出す性質があるので、温室内でも栽培できます。

このキョチクも植栽から25年経ち、株元が直径約2.5mと大きくなりました。そのため、上部に茂った葉で他の植栽植物に光が届きにくくなったり、根が厚さ約30cmの層となって地表を覆うため、他の植物の成長に影響が出てきました。何より、狭い温室内で稈を間引くための伐採作業は重要です。そこで、上部にキャットウォークがあり、根の広がりも制限しやすい温室西側へ移植して管理することにしました。今後、元々のキョチクはすべて撤去し、伐採した5本の太い稈はテポナストリという竹製の楽器を新調するなど様々な利用を予定しています。
(志内利明)



植え付け作業



切り出したキョチクの移植苗

News 園内ニュース

おたよりをいただきました！

前号でみなさんから植物園に関する疑問・質問を募集したところ、なんと！お便りが届きました。ありがとうございます！冬場の熱帯スイレンの管理とオオオニバスの葉は枯れるとどうなるか、という質問をいただきましたので、お答えしたいと思います。まず、熱帯スイレンは8月ごろに葉を切り、裏向きにして水面に浮かべておきます。そうすると、葉の真ん中あたりにむかご（わき芽が養分を蓄えて肥大化したもの）ができてきます。そのむかごを取り外し、水を入れたコップなどに入れて、5～10℃を下回らないように室内の窓辺などの日の当たる場所に置いて越冬させます。当園で展示して

いる熱帯スイレンはすべてむかごを作る種類ですが、熱帯スイレンの中にはむかごを作らない種類もあり、それらは球根を掘り出してバケツなどに入れ、同じように暖かい場所で管理します。

一方、オオオニバスの古くなった葉は葉脈の間の部分から腐ってゆき、最後は全てが溶けたように消えていきます。

さて、お答えになったでしょうか？だよりでは引き続きおたよりをお待ちしております！

(西村幸芳)



今年は夜間開園でオオオニバスもお披露目

Events 注目イベント

「第7回 「サボテン・多肉植物展」 11月2日(土)～4日(月・振)

富山サボテン会との共催で開催する「サボテン・多肉植物展」では、会員自慢のコレクションを見ることができのほか、余剰苗の販売も行います。今回の特別展示は、今年日本植物園協会のナショナルコレクションに登録された、須藤 浩氏のコノフィツムコレクションの初の一般公開です。氏のコノ



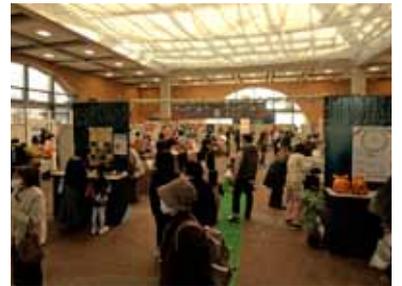
コノフィツム '空海'

フィツムは日本屈指のコレクションとして知られ、美しく作りこまれた群生株に咲く可愛らしい花を見ることができる、またとないチャンスです！

(早瀬裕也)

「ウィンターフェス in 植物園」 12月6日(金)～8日(日)

冬は屋外の木々は落葉し花々が少なく、色彩に乏しい季節です。一方、暖かな展示温室内の熱帯植物の中には開花、結実しているものが見られ彩り豊かとなっています。ウィンターフェス in 植物



昨年のウィンターフェスのようす

園では展示温室内の熱帯植物の観賞に加え、植物園で冬を楽しんでいただくため、楽しいワークショップ、ユニークな出店、コンサートを開催します。

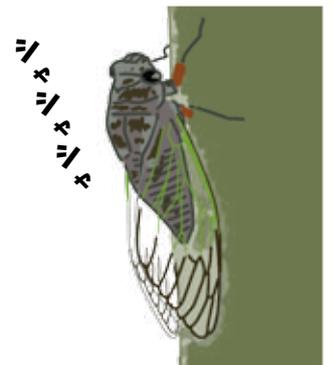
(兼本 正)

Note 園内さんぽ

クマゼミの鳴き声

植物園だよりを作っている私は関西出身で、こちらに来て最初の夏に感じたのが、「なんか静かだな？」ということでした。大阪では夏といえば「シャシャシャ」というクマゼミの大合唱で、桜の木の下などでは隣にいる人の声も聞こえないぐらいの大音量なのですが、富山ではアブラゼミやツクツクボウシなど大人しいセミの鳴き声しか聞こえない。やっぱり大阪ではセミも大阪人ばりにうるさいということか!?!と思いついて分布を調べてみると、静岡以西には広く分布しているが、東日本では最近になって分布が広がっているよう。日本海側で

は福井県が長く北限とされてきましたが、2001年以降金沢市でも確認され、北上してきているようです。実は、昨年園内でもクマゼミの鳴き声がするようになり、定着している可能



うるさくてデカイ！クマゼミ

性が出てきました。みなさんも来年の夏、植物園に来られた際には、ちょっと注意してセミの鳴き声を聞いてみてください。

(西村幸芳)

Event Schedule

※イベント参加には入園料が必要です。高校生以下・70歳以上無料。
※日程・内容などが変更になる場合がございます。最新情報はHPでご確認ください。

企画展・特別開園

→ 10 9 (水)	特別展 「お茶ってなんだろう」 会場：サンライトホール
10 11 (金) → 16 (水)	第36回 ボタニカルアート展 会場：サンライトホール
10 18 (金) → 20 (日)	第57回 富山県おもと展 会場：サンライトホール
10 25 (金) → 27 (日)	秋季さつき・盆栽展 会場：サンライトホール
11 2 (土) → 4 (月・振)	第7回 サボテン・多肉植物展 会場：サンライトホール
11 22 (金) → 24 (日)	第18回 秋のラン展 会場：サンライトホール
12 6 (金) → 8 (日)	ウィンターフェス in 植物園 会場：サンライトホール
12 10 (火) → 25 (水)	花と緑のコンクール入賞作品展 会場：サンライトホール

講演会・講習会・観察会

10 19 (土)・20 (日)	栽培講習会「おもとの栽培と管理」 会場：サンライトホール 14:00～15:30
11 3 (日)	栽培講習会「多肉植物の栽培と管理」 会場：ドリアスホール 10:30～12:00・14:00～15:30
11 24 (日)	栽培講習会「ランの栽培と管理」 会場：ドリアスホール 10:30～12:00・14:00～15:30
12 8 (日)	植物園でバードウォッチング 会場：北池・南池周辺 9:00～11:30 資料代：100円

ボタニックガーデンクラブ

事前申込・大人向け体験講座

10|20 (日) 多肉植物で楽しい寄せ植えづくり
会場：ドリアスホール
10:00～11:00・13:30～14:30

申込用 QR コード



月例行事

植物ガイド

第1, 2, 4, 5日曜日：ボランティアと歩く植物園
第3日曜日：園長と歩く植物園
13:30～14:00 集合場所：サンライトホール

緑のコンサート

9月～11月の第1・3土曜日 13:00～
会場はサンライトホールまたは屋外（天候によります）

入園案内

[開園時間] 2月～10月 9:00～17:00（入園は16:30まで）
11月～1月 9:00～16:30（入園は16:00まで）

[休園日] 毎週木曜日
4月第1, 2とGW、お盆、祝日の場合は開園
年末年始（12月28日～1月4日）

[入園料] 大人500円/団体（20名以上）400円
冬期（12月～2月）—大人300円/団体240円
年間パスポート（購入日より1年間有効）2,100円
高校生以下・70歳以上は通年無料

[交通案内]

バス：富山地鉄バス JR 富山駅から「ファボーレ経由萩の島循環」
または「ファボーレ経由速星行き（休日のみ）」に乗りし、
「中央植物園口」下車、徒歩約15分

車： 富山市中心部より約15分
北陸自動車道富山ICより約15分
JR 速星駅より約8分

団体向け学習プログラム

学校の遠足やPTA活動等でご利用の方向けに、植物園ならではの学習プログラムを提供しています。ご希望日の1週間前までに、学習プログラム申請書をご提出下さい（FAX可）。人数や時間、ご希望のコースについてはご相談ください。※1団体につき1つのプログラムに限らせて頂きます。

- ① オリエンテーリング 植物を探そう
写真と地図をヒントに、園内で植物を探すゲームです。
・対象：年長～小学生
・所要時間：30分～1時間半（コースによって異なります）
- ② どんぐり工作
どんぐりや木の実、葉を材料に工作を楽しめます。
・対象：年長～小学生 ・所要時間：2時間
- ③ ドリアス講座
植物の面白さをスライドでわかりやすく解説します。
・対象：年長～一般（10種類の講座からお選び頂けます）
・所要時間：30分程度（講座によって異なります）

富山県中央植物園だより No.113

令和6（2024）年9月25日発行

編集・発行／富山県中央植物園

（指定管理者：公益財団法人 花と緑の銀行）

〒939-2713 富山市婦中町上轡田42 TEL 076-466-4187



<https://www.bgtym.org/> 公式 Instagram